

アリマテアのヨセフ (2)

安 田 淳*

Joseph of Arimathea (2)

Jun YASUDA

Abstract

The Japanese translation (from 1.555 to the end) here presented is that of *Joseph of Arimathea* the earliest extant alliterative poem which remained to be translated in my former rendering. The method of translating is the same as that of the former one. I tried to make my Japanese translation faithful to the original except for a few cases.

それから、エヴェラックは捕らえられ、手ひどくやられました。そして、ソロマー王は彼を捕まえ、監視して、自分達が出掛ける前に彼を殺すために、すぐ近くの森へ行きました。その時、エヴェラックは楯の覆いを外して、人が血を流し、体を伸ばして十字架に架けられているのを見ました。彼が神の姿をしていたので、エヴェラックは彼に恩寵を求めたのです。彼はその時、馬も甲冑も百合のように白い白騎士が、自分のほうへやって来るのを見ました。楯についていた赤い十字架はその人にふさわしいものでした。彼は、ソロマーの所へ急いでやって来て、彼を馬から落とし、更にひどい傷を負わせました。そして、彼が動かなくなる程にすっかり殺してしまったのです。それから、彼は恐ろしい武器を引き出して、ソロマーに従って来た人々を殺して、足元に倒したのです。それから、彼はエヴェラックをソロマーの馬に乗せ、直ちに戦場に向かったのです。エヴェラックは『セラフィはどこか。』と尋ね、叫んでいました。すると、すぐに、セラフィを見付けました。本当にそこでは、七人の騎士が彼を捕まえ、素早く彼の馬具を取ったのです。白騎士は剣を取って、すぐさま彼らに襲い掛かりました。六人が死んだ

時、七人目の騎士がナイフを取って、セラフィの兜の開いている部分を打とうとしました。セラフィは戦闘に疲れていましたから、その騎士に傷を負わせる余裕はありませんでした。ですから、落馬したのは、セラフィのほうだったのです。エヴェラックがそれを見た時、彼は地面に落ちました。セラフィもまた同じでした。二人とも気絶して、倒れていました。白騎士は、馬から降りて二人を起こしました。彼らが見あげて、互いに見合った時、この二人ほど喜んでいたシナノキはありませんでした。その時、セラフィが言ったのです。『私に斧を下さい。そうしたら、今日それを良く使いましょう。私の力はそれ程蘇ったのですから。』すると、白騎士がこのように言いました。『私のために、これを持ちなさい。これは、あらゆる恩寵を授ける神が、あなたに遺わしたものです。』彼がそれを手にした時、それだけ一層より良い物だと思いました。それは、彼が以前手にしたものより、ずっと重いものでした。どこへ行こうとも、若い者にも、年老いた者にもエヴェラックとセラフィ以上に熱心に働くものはいませんでした。彼らは、鷹のように生き生きとしていて、彼らが最初の前進でそこへ行った時よりも元気がありました。白騎士は、ずっと(先頭に立ち、敵を蹴散らして)彼らに道を開けてやりました。彼の攻撃法は、言

平成元年 10 月 31 日受理

• 一般教育部講師